

## 多品目にわたる分別と、その徹底によるリサイクルの推進と有価売却量の増進

### 取組の意図、目的、始めたきっかけなど

#### （取組の意図、目的）

環境負荷低減のため、廃棄物の3Rを社内で推進しています。

### 取組の概要

#### ■ 分別の細分化による廃棄物の有価物化

パイオニア本社では、社内で発生する廃棄物については約40品目に分別しています。生活系の廃棄物（紙類や缶、ペットボトルなど）は各フロアにある集積所に分別して排出し、梱包材や試作品の廃棄物については、場内にあるストックヤード（1箇所）に集積しています。

分別を細分化することにより廃棄物の減量化・資源化が進むとともに、有価物としての売却量が増えます。特に、製品等から発生する廃棄物については、場内にあるリサイクルセンターで部品レベルにまで分解・細分化することにより、より価値のある有価物として売却しています。

#### ■ 分別の徹底のための取組

排出された廃棄物の分別が適正に行われていない場合は、環境活動事務局が、環境担当者会議、電子メール等にて教育・指導を行い、分別の徹底を推進しています。また、社内の全員に定期的に分別に関する教育を実施するほか、社内WEB上で、廃棄物の減量に関する取組や月ごとの有価物の売却益などの情報を発信し、廃棄物に関する社員の意識向上を図っています。

#### 取組のポイント

この取組では多品目の分別とその徹底を行っています。これにより、**資源化量の増加が見込めるとともに、有価物として売却する量も増加するため、コスト面でのメリット**も生じます。また、これらの**情報を周知することによって、分別を実施する社員の意識向上につながり**、より一層の分別の徹底が期待できます。

川崎本社 排出分別管理表		2014年12月現在	
区分	分別	主な処分先	
排 棄 物	可燃物	紙類、プラスチック、木材、金属、ガラス、繊維、その他	焼却炉
	資源物	紙類、プラスチック、木材、金属、ガラス、繊維、その他	資源物回収業者
有 価 物	紙類	紙類	資源物回収業者
	プラスチック	プラスチック	資源物回収業者
	木材	木材	資源物回収業者
	金属	金属	資源物回収業者
	ガラス	ガラス	資源物回収業者
	繊維	繊維	資源物回収業者
	その他	その他	資源物回収業者



↑ 職場内にある分別ボックス



↑ スtockヤード



↑ リサイクルセンターでとりだされた有価物

↑ 分別表